

今月は「わくわくサイエンスナビ #1」を和光市の理化学研究所仁科加速器センターで開催しました。このプログラムは、科学的思考能力の高い子どもの育成を目指して、小中学校の先生たちに最先端研究に触れていただき、そのわくわく体験を子供に伝えていくものです。この日(8月5日)は、世界で初めて113番元素を発見した施設の心臓部を見学し、最先端研究者と論議しました。



《施設見学》

113番元素「ニホニウム」をつくりだした重イオン線形加速器「RILAC(ライラック)」



《施設見学》

一瞬しか存在しない113番元素を検出するための気体充填型反跳分離器「GARIS」



《施設見学》

研究メンバーが113番元素合成の瞬間を確認したモニタ



《研究者との対話》

昼食をとりながら、相対性理論から研究者の熱い思い、学校教育への期待まで、ざっくばらんに論議しました



《授業案をつくるワークショップ》

参加者の先生方は5チームに分かれ、「見えないモノを探る」「研究者の思いを考える」「私たちもみんな科学者」などのメッセージを込めて授業案をつくりました

<体験わくわく度>  
平均4.0 **満点**

<子どもたちへの伝達>  
平均3.65 **過去最高点**

すごくわくわくした



評価	人数
4	17
3	0
2	0
1	0

全然わくわくしなかった



多くの子どもに伝えられる



評価	人数
4	11
3	6
2	0
1	0

全然伝えられそうにない



《アンケート結果》

先生方のわくわく体験も、それを伝える授業案も、大変満足できる結果となりました